

(様式1)

令和6年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県立山博物館 文化振興室文化政策課

2 施設所在地
中新川郡立山町芦峯寺93-1

3 施設設置年度
平成3 年度

4 設置目的
立山の雄大な自然及びそれにはぐくまれた立山信仰の精神世界を紹介するとともに、展示館、遙望館、まんだら遊苑等のほか、文化財、遺構等の施設及び歴史的風致を総合的に活用し、県民の教育、学術及び文化の向上に寄与することを目的とする。

5 施設概要

①建物の構造 展示館…鉄筋コンクリート造3階建
遙望館…木造2階建
資料館…鉄筋鉄骨コンクリート造2階建
山岳集古未来館…鉄筋コンクリート造2階建
まんだら遊苑(地界)…鉄筋コンクリート造地上1階地下1階
まんだら遊苑(天界)…鉄筋コンクリート造地上1階地下2階

②敷地面積 130,578.5㎡

③建物面積 5,945.33㎡

④施設内容 展示館…延床面積1,784.84㎡(3階建)うち、展示面積1,082.28㎡
遙望館…延床面積663.95㎡(2階建)うち、展示面積204.14㎡
資料館…延床面積630㎡(2階建)
山岳集古未来館…延床面積313.90㎡(2階建)
まんだら遊苑…地界、陽の道、天界、闇の道
敷地面積20,000㎡延床面積1,401.92㎡
歴史的建造物…教算坊、鳴家、有馬家、善道坊、合掌休憩舎
延床面積982.36㎡
かもしか園…敷地面積11,000㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
3 年
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1)利用者数(人) ※この他、参考となる指標があれば追加

R2	R3	R4	R5	R6
47,503	57,010	64,621	63,884	72,272

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R2	R3	R4	R5	R6
7,416	6,916	9,746	9,436	10,909

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R2	R3	R4	R5	R6
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和6年度は、冬期は雪が多かったこともあり若干落ち込んだものの、年間利用者数は72,272名と前年度比で13.1%増となり、令和元年度以来の7万人超えとなった。これに伴い、観覧料・使用料収入は、10,909千円と令和5年度比15.6%増となった。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・展示館窓口で特別企画展の図録、友の会及び財団のグッズ等を販売した。
- ・インターネット（ホームページやSNS）を活用し、開館状況及びイベント等の情報を速やかに提供した。
- ・受付窓口にて、立山黒部アルペンルートや県内市町村の観光パンフレット配布などの観光案内サービスを実施した。
- ・平成21年度から、高齢者や障害を持つ方のための介助技術やホスピタリティを学んだサービスケアアテンダント資格を有した職員を配置し、接客に当たっている。
- ・観覧料等の支払について、平成29年度にはクレジットカード・電子マネー決済への対応したほか、令和2年度にはPayPayやLINEPayなどのQRコード決済サービスを導入し、利便性向上を図っている。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・財団のホームページなどにより県内外に向けて効果的な広報・情報発信を行った。
- ・令和3年度からJAFアプリクーポンプレゼント企画に参加し、利用促進を図っている。
- ・令和4年度からモンベルフレンドショップに施設を登録し、会員プレゼントなどの利用促進を図っている。
- ・令和4年度からTV・ラジオ・動画配信サイトなどの番組製作に協力し、施設の魅力発信に努めている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：エントランスホールにアンケートボックスを設置
回答者数	293
結果	90%以上満足
結果を踏まえた改善事項	利用者には概ね満足いただいているが、今後も高い満足度を維持するため、おもてなしの心を持って丁寧に接客するよう職員を指導した。

② その他利用者の声を反映させる取組み

利用者から寄せられたアンケート結果・意見・要望を利用者サービスに反映させるため、職員全員で情報を共有し、必要に応じて改善した。

③ 主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報保護規定を定めて職員に周知を図り、適正に個人情報を取扱っている。

(6) 関係団体との連携

地元宿泊施設、立山町商工観光課、立山黒部貫光などと連携し、施設のPRを行った。

(7) 施設・設備の維持管理

専門業者による保守点検とは別に職員による自主点検を毎月行うなど、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・非常時のマニュアルや連絡表を作成するとともに、防災訓練の実施や日常的に各種機器点検を実施した。
- ・熊、イノシシ被害防止対策(こまめな巡回など監視体制の強化、野外施設の草刈、忌避剤撒布、防獣ネット・熊撃退スプレー・夜間警報ライト・忌避用音響機器等の設置)を実施した。
- ・スズメバチ、蛇、コウモリ、カメムシ等の被害防止対策を実施した。
- ・スタッフの体調管理を徹底するとともに、万一感染症等の陽性者が出た場合の連絡・支援体制を整えた。
- ・かもしか園周辺で野生生物が多数確認されたため、職員による見回りの強化等、適切に利用者の安全確保に努めている

10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	12
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	12
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

・令和5年9月に文化観光推進法に基づく「立山博物館を中核とした文化観光拠点計画」が認定されたこともあり、引き続き博物館各施設の整備と保全、広報等に努め、文化資源の活用による地域活性化の推進に取り組んでもらいたい。本計画では、来館者数を令和4年度の6.5万人から令和9年度に9万人へ増加させることを目標としており、今後も利用者に安心・安全で快適な環境を提供するとともに、「ミュージアムナイト」や「まんだらナイトウォーク(利用促進事業)」等のイベントの一層の充実を図り、着実に利用者を増加させてほしい。

・開館から30年以上が経過し、嶋家、善道坊、合宿休憩所の屋根等、施設の老朽化が著しくなっているが、施設点検の徹底と県への報告を密にするとともに、施設修繕を計画的に行うなど、被害やトラブルの未然防止に注力してもらいたい。